

新宮山彦ぐるーぷ第2378回

持経宿、平治宿の巡回整備

◇実施日 7月22日(火) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、阪口雄二、松本吉殖、梶野照雄、
村吉光夫 6名

7月18日に平治宿のトイレ排水路の再工事を予定していたが、雨のため延期し、連休明けの22日に実施した。

6月1日と6日に平治宿トイレの排水路工事を行ったが、水を流してみると、直角に交差した部分から水が飛び出してしまうことが判明。松本さんと相談の上、水の飛び出しを抑えるため追加工事を行った。



岩を割って移動



平治宿に着く



排水路施工中

午前8時半、スポーツ公園駐車場に集まり、村吉、阪口、沖崎車の3台で持経宿を目指す。モノレールの手前にあった腐った倒木は撤去されていた。池郷林道ゲートに沖崎車をデポし、2台で持経宿に向かった。路面状況は先月と大差ないが、水流で掘れた深い溝が3か所あり、車高が低い車は通過に慎重さが求められる。落石は少ないが、大きなものを一つ、ハンマーで割って移動した。ゲートから40分で持経宿に到着。沖崎さんは持経宿に残って、ストーブ設置の準備などを担当。残りの5名で平治宿に向かった。気温は26℃位だが、風が無く陽射しの部分はかなり暑い。1時間強で平治宿に着き、排水路工事を始めた。



水止め完成

アングルを打ち込む

屋根は再塗装予定

村吉さん作製のハシゴを足場にして、松本さんが施工、他の者は補助に回った。木が邪魔になったり、寸法が少し違ったりで現物合わせとなり、加工に少し時間を取られた。予定した水止め板を取り付け、トイレから水を流してみる。真直ぐ当たる部分の水漏れは抑え

られたが、曲がった部分からはかなり水が飛び出している。追加でもう一枚水止め板を付けることになり、小屋に残っている材料を切って取り付けた。40分ほどで再工事完了、再び水を流してみる。水の飛び出しは殆ど無くなり、パイプの先まで順調に流れるようになった。排水路のズレを抑えるため「アングル」を打って工事を終えた。昼食は小屋前のテーブルで、村吉さんは冷たいコーヒーをクーラーボックスで持ってきてくださった。工事の跡片付けをして持経宿に戻る。

行動タイム

08:30 スポーツ公園駐車場→08:57 池郷林道ゲート→09:35 持経宿→10:58 平治宿 12:25→13:40 持経宿 14:02→14:45 スポーツ公園駐車場



本日の参加者

持経宿の水場

囲炉裏と運んだ水

持経宿の囲炉裏は、灰が片付けられコンクリートブロックが並べられて、すぐにでもストーブが置ける状態になっていた。ポリタンクを3つ阪口君の車に積んで水場に向かった。水場はよく流れていた。取水口とホースの繋ぎ目を掃除し、一杯にしたポリタンクを小屋まで運んだ。帰路の林道では止まることなく進み、スポーツ公園駐車場まで45分だった。

(記：梶野)